

2024年2月15日
東銀リース株式会社

「工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業」の案件採択について

東銀リース株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 藤末 浩昭、以下、「当社」）が代表事業者、石橋建設興業株式会社（愛知県碧南市、代表取締役 角谷 圭祐）が共同事業者となり申請を行ったCO2削減を目的とした設備投資が、環境省の「工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（以下、「SHIFT 事業」）」※1の「省CO2型設備更新支援（標準事業）」として採択されましたので、下記の通り、お知らせ致します。

日本政府は、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「地球温暖化対策計画」において、中期目標として2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減を表明。また、環境省は、中長期の温室効果ガス削減目標の達成を目的として、SHIFT 事業等を通じた補助金交付等の支援を行っております。

この度、舗装用アスファルト合材を製造しております石橋建設興業株式会社は、バーナー燃料の重油から都市ガスへの転換を目的としたアスファルトプラント更新に加え、太陽光発電設備の導入やフォームド装置の導入、排風機のインバータ化などの自主対策も実施することで、年間約2割のCO2排出量削減を計画されております。また、当社は、新たに導入するアスファルトプラントに対してリース事業者としてファイナンスサービスを提供し、補助金の活用によるCO2排出削減に向けた設備投資を支援致します。

当社は、2022年4月からスタートした第9次中期経営計画において、再生可能エネルギー・脱炭素事業を注力ビジネス領域として掲げており、このような取組みを通じて、脱炭素化に向けた取組を推進し、今後も気候変動への対応や地球環境保全の実現に貢献してまいります。

※1 「工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（SHIFT 事業）」は、2030年度温室効果ガス削減目標の達成や2050年カーボンニュートラルの実現に貢献することを目的として、環境省が「①CO2削減計画策定支援」（中小企業等による工場・事業場でのCO2削減目標・計画の策定支援）、及び「②省CO2型設備更新支援」（CO2削減計画に基づく高効率機器の導入や電化・燃料転換等の設備更新に対する補助金交付）を行う事業です。尚、今回対象となる補助金は、代表事業者に対して一般社団法人 温室効果ガス審査協会より交付されます。

<SHIFT 事業 概要>

名称	令和4年度(第2次補正予算)二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金 (工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業) ～省CO2型設備更新支援(標準事業)～
事業スキーム	<p><当社/共同事業者との共同申請イメージ></p>
対象物件	アスファルトプラント 一式
代表事業者	東銀リース株式会社 (https://www.botlease.co.jp/) 所在地 : 東京都中央区新川二丁目27番1号 東京住友ツインビルディング東館 代表者 : 代表取締役社長 藤末 浩昭 設立 : 1979年10月 事業内容 : 各種物件のリース・割賦、貸付業務及び事務受託等
共同事業者	石橋建設興業株式会社 (https://www.ishibashi-kensetsu.net/) 所在地 : 愛知県碧南市山神町2丁目72 代表者 : 代表取締役 角谷 圭祐 設立 : 1957年1月 事業内容 : 各種建設工事の設計・施工
事業完了月	2024年1月

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

東銀リース株式会社

中部営業部

TEL : 052-201-5201